

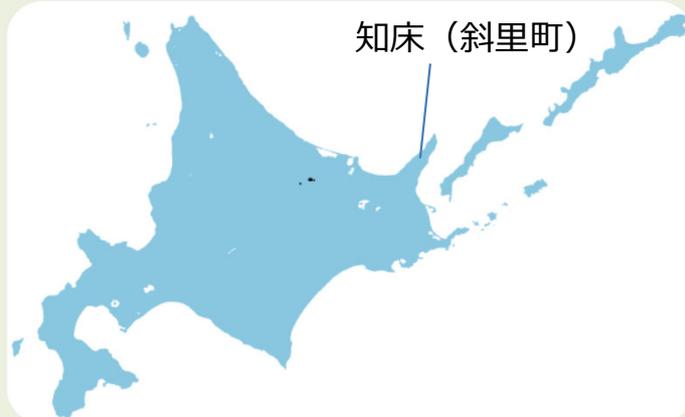
株式会社知床グランドホテル

～世界遺産知床の持続的発展のために！同業者・自治会・クマとの共生を目指す「BCP」～

■ 事業概要

当社は斜里町ウトロに位置しており、知床エリアの代表的な宿泊施設の1つです。知床エリアは北海道でも代表的な観光地であり、地域産業に占める観光業の割合は一定程度あります。また、2020年から知床のクマを守るための活動である「クマ活」を行っており、具体的には定期的な草刈りをして見晴らしをよくすることで、誤ってクマが人間の生活圏に入ってくることを防ぐことやゴミ拾い、啓蒙活動等の様々な保護活動も行っております。

・クマ活：<https://kitakobushi.jp/csv/>



知床（斜里町）

【認定日】：令和3年12月8日
 【所在地】：斜里郡斜里町ウトロ東172番地
 【業種】：宿泊業
 【従業員数】：95名
 【想定リスク】：震度5弱以上の地震、豪雪、ヒグマによる獣害、感染症
 【HP】：<https://www.shiretoko.co.jp/>



地震



雪害



獣害



感染症

■ 計画策定の経緯

知床地域は常に地震や豪雪のリスクと隣り合わせのこともあり、当初から防災への意識は持ち合わせておりました。実際に北海道胆振東部地震で当社もブラックアウトした際には、斜里町と災害時の協定を締結していることより、円滑に観光客や地域住民の受入れを行うことができ、当社客室や大浴場、食料等の備蓄品をご利用・ご活用頂きました。また、自家発電設備が充実していることもあり、数日程度であれば十分電力を賄うことが可能でした。このように、**事業継続力強化計画策定前の段階でも災害に対応できていたため安心しておりましたが、それは同時に「油断」に繋がるおそれもある**ことから、改めて内容を文字化して整理しようと計画策定に至りました。



※写真は同社HPより

■ 感染症に対応する取組

日々の感染症対策は北海道の「新北海道スタイル」安心宣言に則り、十分に行っており、レストラン会場では北海道飲食店感染防止対策認証制度による「第三者認証制度」の認証を受けております。また、ホテル出入り口に非接触検温カメラ及びアルコール消毒を設置し、各階のエレベーター前にも同様に設置しております。

万一、感染者が発生した場合においても全役職員が登録している**ラインワークス**（組織内情報共有用コミュニケーションツール）を**活用することで、従業員への迅速な連絡が可能**です。これは自然災害においても有効に機能します。また、人員の面においては知床プリンスホテル※と連携し、柔軟に対応可能となっております。

※同社も令和4年2月7日に事業継続力強化計画認定

■ 「クマ活」と「BCP」

「クマ活」はクマと人間の互いの生息地を侵さないよう、様々な活動を計画し実行しています。計画内容にも盛り込んだ「**ヒグマによる獣害**」という被害想定は本活動と通ずる点があると思っており、**手つかずの自然が溢れる世界遺産知床なら**ではと考えており、本活動に取り組むことが結果的にBCPに繋がっていたのだと、計画策定にあたり再認識しました。



(写真：同社提供)

■ 今後の取組

当社は「**BCPは今後ますます重要視されるもので、必ず会社の成長の一助となる**」という認識を持っておりますが、**企業にとどまらず地域への広がり**という点も非常に重要と考えております。その取組の一つとして、現在、ウトロ地区の自治会防災会議に当社経営層が住民として参加した際、「**自治会のBCP**」についても作成することとなり、当社も**事業継続力強化計画認定の経験を活かして貢献できれば**と思えます。年1回以上の計画の見直しなどを行い、有事の際に効果を発揮し、実効性のある計画になればと考え、よりよい計画を目指していきます。

【北海道経済産業局担当者のコメント】

同社の被害想定の中に「ヒグマによる獣害」が含まれていることに「知床ならでは」を感じました。具体的には、『保護活動であるクマ活がヒグマとの接触機会を減らすことに繋がる』＝『獣害という被害想定をすることが事前対策の役割を果たしている』という「気づき」です。全体を通じて地域性を深く検討した計画になっていると思えます。